



平成28年10月11日

各位 株式会社リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村 義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)

問合せ先 取締役執行役員管理本部長 宮崎 正 是
TEL. 03-3440-3303

抗 FGF2 アプタマーを用いた軟骨無形成症治療薬の開発 に関して、チェコ共和国 Masaryk 大学と共同で 研究開発を実施する契約を締結

この度、当社が創製した線維芽細胞増殖因子 2 (FGF2) に対する核酸 (RNA) アプタマー (以下「本アプタマー」、自社創薬品目 RBM007) について、チェコ共和国 Masaryk 大学医学部 (担当：Pavel Krejci 博士) との間で、本アプタマーを用いた軟骨無形成症に対する治療薬の開発を目的として、共同で研究開発を実施する契約を締結することとなり、取締役会において本日決議いたしましたので、お知らせします。

Pavel Krejci 博士は、四肢短縮による低身長を主な症状とする軟骨無形成症 (Achondroplasia) の分子病理学を専門とする研究者であると同時に、チェコ共和国で Achondroplasia 研究 (治療、創薬) プロジェクト組織である「ReACH」の代表者を務めています (<http://www.achondroplasia-registry.cz/index-en.php>)。軟骨無形成症研究において世界的に著名な Pavel Krejci 博士との共同研究によって、抗 FGF2 アプタマーについて包括的な薬効試験を実施して、軟骨無形成症への適応の検証を行う予定です。本共同研究の成果は、抗 FGF2 アプタマーの臨床試験の実施に向けて重要な一歩になるものと期待しています。

なお、本共同研究による、平成29年3月期の通期業績への影響はありません。

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・線維症を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs (未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ) に対する新薬の提供を目指してまいります。

以上